

平成30年度大学院地球社会統合科学府

修士課程（冬季）入学試験

入学試験問題

日本語

注意事項

1. 問題は「はじめ」の合図があるまで開けないこと。
2. 試験開始後、解答用紙に受験番号等を明記すること。
3. 解答用紙は、必ず全部提出すること。
4. 問題冊子は持ち帰ってよい。
5. 指定の解答用紙を用いること。

問題Ⅰ 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。(30点)

WEB公開版では著作権法上の問題により、問題文原文を削除した。問題文は「デジタル時代の人材育成」に関する内容の和文25行

問1.本文中の【a】～【d】に入る最も適切な語を次の選択肢の中からそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。ただし、同じものは一度しか使えません。(3点×4=12点)

ア ところで      イ むしろ      ウ なぜなら      エ だけ      オ しかし  
カ すなわち      キ あるいは      ク そこで      ケ こそ      コ ばかり

問2. 下線部「そうした時代」とはどういう時代のことか、本文の内容に即して具体的に説明している箇所をそのまま30字以上40字以内で抜き出して答えなさい。(6点)

問3. 筆者の主張を本文の内容に即して 70字以上80字以内にまとめなさい。(12点)

問題Ⅱ 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。(50点)

WEB公開版では著作権法上の問題により、問題文原文を削除した。問題文は外山滋比古「新エディターシップ」に関する内容の和文49行

問1 本文中のカタカナで表記された下線部①～⑤を漢字で書きなさい。(1点×5=5点)

問2 本文中の下線部(ア)～(オ)の漢字の読みをひらがなで書きなさい。(1点×5=5点)

問3 本文中の【a】～【e】に入る最も適切な語を次の語群の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。ただし同じものは一度しか使えません。(1点×5=5点)

ア われわれの      イ おのおのの      ウ いくつかの      エ たいていの      オ とぎれとぎれの

問4 下線部(A)「人生はすべて多元回路」とは、具体的にはどういうことか、簡潔に説明しなさい。(5点)

問5 下線部(B)「普通はマルチプル・チャンネルの人生を生きて、とくに、それが断片的であったり、支離滅裂であるとは感じない」のはなぜか、簡潔に説明しなさい。(5点)

問6 下線部(C)「そういう純粋さははなはだ他人迷惑である」とあるが、それはなぜか、簡潔に説明しなさい。(6点)

問7 下線部 (D)「それより、どうして、そういうことができるのに、それに気付かずに過  
ごしているのか」とあるが、文中の三つの指示語「それより」、「そういうこと」、「それに」  
は、それぞれ具体的に何を指すか、本文の言葉を用いながら答えなさい。(3点×3=9点)

問8 下線部 (E)「創造的認識」とあるが、それは具体的にはどういう認識か、簡潔に説  
明しなさい。(10点)

### 問題Ⅲ 作文 (20点)

幸福度と富の関係については、様々な議論がなされています。例えば、年収が75,000  
ドルを超えると、それ以上収入が増えても幸福度はほとんど増えないという「イースタ  
リンの逆説」はよく知られていますが、これに対する反論も提出されています。幸福と  
お金の関係について、あなたはどうか考えるか、380字以上400字以内で論じなさい。

注：イースタリン＝アメリカの経済学者。